

健康で明るい住み良い環境、豊かな村づくり

い ぜ な そ ん

伊是名村



市町村コード	473600	類型	I-O
所在地	〒905-0695 伊是名村字仲田1203番地		
T E L	(0980)45-2001	F A X	(0980)45-2467
ホームページ	http://www.izen-okinawa.jp/		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉 (平成31年3月31日現在)

村長	まえだせいぎ 前田 政義 任期 H34.9.20 (5期)	副村長	おくまもる 奥 間 守 任期 H31.3.31 (1期)
副村長	-	教育長	なかただし 名 嘉 正 任期 H33.3.31 (2期)

〈概要〉

県下 33 位			
総面積 H30.10.1	耕地 H30.7.15	宅地 H30.1.1	
15.43 km <sup>2</sup>	541 ha	478,895 m <sup>2</sup>	

県下 33 位		
住基人口 H30.1.1	H27国調人口	H22国調人口
1,481 人	1,517 人	1,589 人
年少人口割合 15.6%	(県全体 15.6%)	高齢化率 27.7% (県全体 19.6%)

住基世帯数 H30.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
792 世帯	695 世帯	699 世帯

有権者数 H31.3.1	男	女
1,162 人	641 人	521 人

議長	みやぎやすし 宮城 安志	副議長	しおひらそのみ 潮平 そのみ
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	10	10	H34.9.27
	常任委員会	党派構成	無所属
	総務、経済建設	10	-

沿革

昭和14年7月1日	伊平屋村から分離 村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H24~H33	中长期財政計画	無
基本計画	H24~H28	( - )	( - )
実施計画	H27~H29	( 3年計画 1年ローリング )	

H30.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	72 人	57 人	15 人
人口千人当たり職員数	48.62 人	38.49 人	10.13 人
各4.1現在	平成30年度	平成29年度	平成28年度
職員数(普通会計)	57 人	57 人	59 人
類似団体	-	33 (35)	33 (85)
ラス指数	95.3	95.1	94.6

※類似団体〇は修正値。ラス指数の〇は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

村花	トウサツキ	村木	ウバメガシ
村鳥	-	村魚	-
名所・旧跡	国指定重要文化財銘苅家住宅、伊是名玉御殿、伊是名城跡、尚門王御庭公園、逆田、美織所、仲里杜、尚門王通水節公園		
祭り、行事	豊年祭、いぜな尚門王まつり、いぜな88トライアスロン大会		
名産・特産	もずく、海ぶどう、泡盛(常磐)、烏島(尚門の里)		
姉妹都市	-		
その他	北海道日高町日高小学校との児童交流		

〈平成31年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	伊是名漁港海岸整備事業	継続	262
補助	社会資本整備交付金	継続	37
補助	沖縄振興公共投資交付金	継続	27
-	-	-	-

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
地域経済活性化計画
北部地方拠点都市地域基本計画
-

〈基地面積〉 (H30.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	- ha
県面積に占める割合	-

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	団体営農業集落排水事業	H28~H31	518
補助	伊是名漁業(勝理客地区)補充ベース整備事業	H28~H32	1,987
補助	簡易水道管路整備事業	H30~H37	1,227
-	-	-	-

《教育》 (平成30年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	1園	34人
村立小学校	1校	78人
中学校	1校	29人
村立	1校	29人
村立以外	0校	0人

《医療》 (平成29年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	1箇所	0床
村立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

《産業》 ①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	194人	26.3%
第2次	158人	21.4%
第3次	387人	52.4%
合計	739人	100.0%

②村内総生産 (H27年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	395	9.1%
水産	142	3.3%
鉱・製造	368	8.4%
建設	709	16.3%
電気ガス水道廃棄物	△4	-0.1%
運輸・郵便・通信	158	3.6%
卸売・小売	255	5.9%
金融保険不動産	467	10.7%
宿泊・飲食サービス	236	5.4%
専門・科学技術支援	40	0.9%
公務・教育	1,040	23.9%
保健衛生社会	365	8.4%
その他サービス	187	4.3%
合計	4,358	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H30.4.1)	1箇所	70人
村立	1箇所	70人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H29年度平均)		12.94人
人口千人当たり		

《財政》

①決算収支 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度
歳入総額	4,872	3,023	2,796
歳出総額	4,600	2,776	2,488
形式収支	272	247	308
実質収支	262	240	308
比率	21.6%	19.7%	24.8%
積立金	475	103	70
積立金取崩額	139	0	35
実質単年度収支	433	82	103

②主要指標 (百万円)

区分	H27年度	H28年度	H29年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財力指数	0.11	0.11	0.11	35	0.37	0.53	0.31
標準財政規模 a	1,214	1,220	1,241	34	8,354	22,703	3,092
経常収支比率	87.7	88.3	88.9	26	87.2	88.0	85.1
人件費	41.3	39.9	38.3	37	23.1	22.3	25.4
扶助費	2.9	2.2	2.2	10	15.4	18.3	8.1
公債費	16.6	17.8	17.8	32	14.4	14.7	13.5
物件費	16.9	17.4	18.4	32	14.5	14.0	15.7
その他	10.0	11.0	12.2	8	19.8	18.7	22.4
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	6.6	6.3	5.8	12	8.0	8.6	6.4
将来負担比率	13.3	-	-	-	27.1	43.8	-
税徴収率	80.8	79.6	80.8	40	96.6	96.8	95.9
現年課税分	94.9	94.8	95.4	38	98.7	98.8	98.6
滞納繰越分	15.3	14.4	20.5	36	37.8	39.3	33.6
債務負担行為額 b	0	0	0	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	2,586	2,555	2,507	-	-	-	-
c/a %	213.1	209.5	201.9	32	-	-	-
積立金現在高	782	941	1,035	-	-	-	-
財政調整基金	537	640	675	-	-	-	-
減債基金	96	105	128	-	-	-	-
その他特目基金	148	195	232	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	72,176	74,591	79,596	8	-	-	-
自主財源比率	26.2	16.3	17.9	37	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況 (H29年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	25	47	38
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	0	8	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入金
法非通			
簡易水道事業	12	24	17
下水道事業	3	10	7
交通(船舶)事業	61	40	40
港湾事業	4	0	0
-	0	0	0
法適			
-	0	0	0
-	0	0	0

④歳入の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	118	4.2%
地方譲与税	21	0.8%
地方交付税	1,302	46.6%
普通交付税	1,037	37.1%
特別交付税	265	9.5%
国庫支出金	380	13.6%
県支出金	389	13.9%
地方債	174	6.2%
その他	412	14.7%
歳入総額	2,796	100.0%

④歳出の状況 (H29年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	509	20.5%
物件費	429	17.2%
扶助費	125	5.0%
補助費等	218	8.8%
公債費	238	9.6%
普通建設事業費	630	25.3%
補助事業費	585	23.5%
単独事業費	21	0.8%
その他	339	13.6%
歳出総額	2,488	100.0%

《行政の特色》

健康で明るく、住みよい、村づくりを基本として、今後は歴史的遺産を活かしながら、観光産業の振興を図り、文化的、創造的な野外活動の拠点づくりを目指し、「歴史と自然、人が共生するときわのしま・伊是名」を伊是名村の将来像として設定、目標に取り組んでいく。